森と私たちの暮らし

一般社団法人 東京都森林協会
発行人 東京都森林協会会長 三谷 清
〒190-0181
東京都西多摩郡日の出町大久野7852
☎042-597-2881

No.08
2021年7月

東京都森林組合が開催したドローンによる森林整備資材の搬送実験風景

第４回定時社員総会開催

一般社団法人東京都森林協会は令和3年度定時社員総会を6月25日に昨年度に引き続き書面で開催いたしました。付議された全議案が承認となり令和3年度の事業がスタートいたしました。

令和2年度は、新型コロナウィルス感染症の影響により、対面での会議・調査・打合等が制限される中、当協会の主要な業務である多摩産材認証制度の運用については多摩産材認証協議会委員の積極的な取り組みにより、多摩産材の新たなPR名称が選定できることとなった。

選定に当たり、登録事業者や利用する事業者からの声を反映させ、複数候補案から一般都民による投票を実施し、協議会での決定となりました。

令和3年度は愛称とマークを組み合わせたロゴマークの策定し、多摩産材の普及拡大に向けて取り組んでまいります。

一般社団法人　東京都森林協会
代表理事会長　三谷　清

多摩産材愛称決まる「とうきょうの木」

多摩産材認証協議会は「東京の木多摩産材」の普及拡大に向けて、新たなPR名称として「とうきょうの木」の愛称を決定した。

協議会では令和2年度より組織体の拡充と財政基盤の充実を図りつつ、「東京の木多摩産材」の認知度向上を協議会運営の第一目標に掲げて次のとおり取り組みを展開した。

愛称候補名については多摩産材登録事業者初め、多摩産材を家具・什器・小物・外構・外装・内装・建材として利用活用する50社以上の皆様の声を伺い、愛称候補6案を協議会で決定いたしました。

最終決定に向けては一般都民の声を反映させた愛称が重要であり、都内4ケ所の投票場所と当森林協会HPにWEB投票のコーナーを設置し、令和3年5月23日の締切日までに多数の皆様より投票を頂きました。

紙面にて投票いただきました皆様に感謝申し上げます。投票と共に、120を超える要望やコメントをいただきました。

5月27日開催の当協議会総会において、投票で選ばれた上位3点の候補案を中心に議論され、一般都民から多数支持された「とうきょうの木」が最終的に新しい多摩産材の愛称に決定いたしました。

5月27日開催の多摩産材認証協議会の様子

活発な議論で愛称の決定

とうきょうの木ロゴマークの選定へ ロゴマーク選定はWEB投票で

多摩産材の普及拡大に向けては、利用・活用される皆様の認知度向上が重要な要素となります。決定した愛称「とうきょうの木」を取り入れたロゴマークにつきましても、多くの都民や利用者の皆様の声を反映させて決定させていただくこととなります。

7月中にロゴマークの複数候補を選定し、東京都森林協会HP上で、一般都民の皆様に投票をお願いすることで進めてまいります。

8月中旬から9月中旬を投票期間として準備を進めておりますので、多くの皆様に投票をお願いいたします。

東京都森林協会HP
https://tokyo-shinrinkyokai.com/

一般投票期間完了後、10月中に当協議会にて最終愛称ロゴマークを決定する予定となります。

新しいロゴマークは、チラシ・パンフレット初め多摩産材を利用した最終製品等にも利活用可能となりますので、条件等のお問い合せは東京都森林協会までお願いいたします。

TEL　042-597-2881
FAX　042-597-1520

田中惣次さん「みどりの文化賞」受賞!!

東京都林業改良普及協会会長の田中惣次氏が第30回「みどりの文化賞」を受賞いたしました。

「みどりの文化賞」は緑や森に関わる顕著な功績のある個人や団体に対して公益社団法人国土緑化推進機構が顕彰し、今年が第30回目の記念の賞となります。

受賞後の記念撮影
右側は本郷林野庁長官（当時）
中央は受賞者の田中惣次氏
左側は坂本檜原村村長

田中氏は1947年東京都檜原村に生まれ、山林約500haを所有する林家の14代目である。

急峻な森林地区において、路網整備や新技術の導入による森林施業に積極的に取り組み、循環型の森林経営の実践する東京都を代表する林業家の一人である。

また、自己所有森林を多くのボランティア活動に提供するとともに、都市住民との繋がりを通じて森や林業の魅力を伝える「檜原森林塾」も主宰し、森林が持つ多面的機能の発信に努めている。

森林経営においては循環型林業の模範となる植栽から保育・伐採までを自ら手掛ける自伐林家として林業経営の向上に努めている。

田中氏の永年にわたる取り組みが評価され今回の受賞となりました。

田中氏は東京都の林業関係の団体組織の役職も多数就任しつつ、全国の林業整備・林業改良普及・林業経営改善等にも積極的に取り組み、全国組織のリーダーとして林業の発展と後継者育成に取り組んでいます。

田中氏の全国組織経歴

全国林業研究グループ連絡協議会長	2004年～ 2010年
林業人材育成支援普及センター 代表理事	2011年～ 2017年
公益社団法人大日本山林会副会長	2011年～ 2017年
一般社団法人全国林業改良普及協会 副会長	2018年～

表彰は5月8日の第30回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典で開催予定でしたが、コロナ感染症により中止となり、緊急事態宣言が解除された6月23日に、檜原村役場におきまして坂本檜原村村長立ち合いの下、本郷林野庁長官より田中氏に表彰状並びに賞碑・副賞が授与されました。

本郷林野庁長官から賞状を受ける田中惣次氏

とうきょう森づくり貢献認証制度

TOKYO FOREST ACTION

第17回審査会は新型コロナウィルス感染症防止の観点より、集合審査会を取りやめ各審査員の個別書面審査を3月に実施し、下記の団体からの申請が全審査員より承認となりました。

認定された団体は次のとおりとなります。

■森林整備サポート認定部門

◎新宿区　　区長　吉住　健一　　様

2011年にあきる野市戸倉地区に開設された「新宿区の森」は下刈作業による認定が満了となり、次の森林整備である除伐作業で認定。

■多摩産材製品による二酸化炭素固定量認証

◎港製器工業株式会社　様

多摩産材を利用した木製フェンス　　8種

木製プランターフェンス　　2種

写真は多摩産材の円柱を利用した外構フェンスAタイプ工事。柱の高さ3タイプが特徴

■建築物等による二酸化炭素固定量認証

◎野村不動産株式会社　　（建築主）様

◎戸田建設㈱　東京支店　　（事業主）様

千代田区平河町H1O平河町プロジェクトの建造ビル窓廻り木製ルーバー

新設されたビルの外壁に多摩産材杉の木5.2㎥（平面積320㎡）による木ルーバーを外観・専有部に採用している。

◎奥多摩町　町長　師岡　伸公（建築主）様

◎佐久間建設株式会社　　（事業主）様

奥多摩中学校3階に多摩産材のヒノキとスギを使用し、木質化で憩いの学び舎となる。

奥多摩中学校特別支援教室改修開設

◎中央大学　理事長　大村　雅彦（建築主）様

◎㈱竹中工務店　東京本店　　（事業主）様

豊かな自然に調和する内外観を特徴とするSDGsに即した環境配慮型教育施設であるFOREST GATEWAY CHUO 新築工事

出典：中央大学HP